

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第11回 理事会議事録

日 時：2015年 11月 24日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- （ 理 事 長 ） ：  
（ 直 前 理 事 長 ） ：  
（ 副 理 事 長 ） ：澤畑（敬称省略以下同）、福田（之）、廣田、中島  
（ 専 務 理 事 ） ：金  
（ 監 事 ） ：篠崎  
（ 担 当 常 任 理 事 ） ：羽石、飯野、鈴木  
（日本 JC 委員会特別委員長） ：  
（ 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ） ：小瀧  
（ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ） ：豊崎  
（ 事 務 局 長 ） ：飯沼  
（ 委 員 長 ） ：辻、松井、篠原、増淵、宮林、福田（弘）、山田、飯塚、木村  
（ 局 次 長、副 委 員 長 ） ：間島、金田、柿沼、相田、吉田、菊池  
中嶋、板林、佐藤、南木、林  
（ 準 理 事 会 構 成 員 ） ：赤井、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）  
2. JCI クリート唱和 <宮林>  
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <増淵>  
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <木村>  
5. 関東地区宣言唱和 <板林>  
6. 出席者の確認 <辻>  
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>  
議事録署名人  
澤 畑 敦 史  
篠 崎 達 彦

## 8. 前回議事録の確認

<金>

## 9. 議題並びに資料の確認

<辻>

## 10. 2015年度理事長挨拶

<澤畑>

まずは第11回理事会にお集まりくださいまして、ありがとうございます。前回の理事会からですと、様々な事業、例会等がありました、宮ハロ例会おつかれさまでしたし、道徳事業もお疲れ様でした。多々問題点はあったかと思いますが、報告議案を楽しみにしております。それからありがとうございます関地区、篠原監事ほんとうにお疲れ様でした。また先日行われたさよならブロックもお疲れ様でした。今年も宇都宮JCからたくさんのお出向者をだしております。大きなところでいえば中島副理事長が日本JCの議長として出向されております。関東地区でいえば篠崎監事が監査担当役員ということで出向されております。安野監事は日本JCの副議長として、栃木ブロックでは倉持君が委員長として出向しており、役を持った方は皆さんからすればかなり印象に残って、会えばお疲れ様ですとか、いろいろと声をかけられることも多いのではないかと思います、役を持った人間、たとえば中島議長には梅田君が統括監事として、他にもメンバーの方が亀井君もそうですね、出向してくれて、関東地区では新妻君、安野副議長には鈴木求君が幹事として、その他にもたくさん出向されています。役を持った人間だけでなく、下支えしてくれるメンバーがいて自分の力を発揮できているわけですから、まだ最後まで事業等が終わったわけではないですが、そういったメンバーたちにも労いの言葉をかけて欲しいなと思います。そしてその場で、出向してどうだった、ですとかいろいろな意見を交換して、では自分はどこに出向してみようか、などと考える時間をつくることができると思いますので、是非とも積極的にはなしかけて欲しいと思います。来年は、須山理事長が日本JCの中でも激務である会務常任という立場で出向しますので、そこには菊地君のように出向するメンバーの支えがあることを忘れないで欲しいと思います。出向者の皆様、この場を借りまして、ほんとうにおつかれさまでした。本題にうつりたいと思います。本日はたくさん議案があります。ほとんどが報告案件となりますが、報告案件とは、この理事会の場で反省してください、ということではなくて、よかったこと、悪かったことを全て含め、次年度の事業、例会がさらによくなるために引き継ぐものでありますので、そういった意味を持ちながら、お互い謙虚に進めて欲しいと思います。その結果として、次年度にさらなるよい事業ができればよいわけですから、けしてこの場で謝って欲しいとかそういうわけではないのです。結果として失敗だったとしても、その事業、例会の審議の際に私たち理事が賛成をしたものですから、つまりその失敗は私たち全員の反省しなければならないものです。35名全員が真摯に向き合って報告案件を精査して欲しいと思います。長丁場となるでしょうけれども、本日もよろしく願いいたします。

## 11. 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

## 1 2. 役員報告

<柿沼> 1 1月研修例会の周知、動員のお願いとご案内

<木村> 宮まつり委員会より1 2月5日のご案内

<金> 1 2月須山君を励ます会の開催見送りのご案内

## 1 3. 審議事項

審-1 1 2月さよなら例会 開催計画並びに予算(案)承認の件  
審議資料に基づき、林副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 委員長、捕捉お願いします。

<小瀧> 慎重なるご審議よろしく願いいたします。

<澤畑> 法令会計

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットは。

<辻> 特段ございません。

<澤畑> ご意見のある理事の方、右手挙手にてお願いします。ご意見なきようですので採決に移ります。審議事項1番1 2月さよなら例会開催計画並びに予算(案)承認の件、賛成の方、反対の方、白票の方、事務局長評決をお願いいたします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<澤畑> 審議可決いたします。林副委員長意気込みをどうぞ。

<林> 本日は審議ご承認ありがとうございます。まず、はじめに豊崎局長、法令会計のみなさま、また、辻委員長、総務委員会のみなさま、大変お世話になりました。この場を借りて御礼を申し上げます。現在30名というメンバーを預らせていただいておりますが、私が拡大にいた時よりも、今年のメンバーは頑張っている気がします。彼らは、まだJCをよくはわかっていませんが、頑張っているのは、今年の卒業生に大変よくしていた

だいたからだと思います。さよなら例会は卒業式ではありませんので、セレモニーの部分も大切にしながら、全員が記憶に残るようなさよなら例会にしていきたいので、是非、楽しみにしていただき、当日一人でも多く参加していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

審-2 5月 PR事業 開催計画並びに決算(案)承認の件  
審議資料に基づき、篠原委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> ご意見ある理事の方、右手挙手にてお願ひします。

<中島> 質問です。対外の目的に達しなかった点でフェイスブック、(3)これは、分析はいいとして、どういうページにしたらいいと篠原委員長は思ひますか。

<篠原> 一人でも多くの方に知っていただくのが必要です。宇都宮JCでできることがあると思ひます。いいね、を増やしたり、JCがフェイスブックをやっていることがわかって、その人がJCのメンバーかは伝わってないと思ひます。ただ、メンバーが投稿することで一般の方もできるようになると思ひます。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項2番 5月 PR事業 開催計画並びに決算(案)承認の件  
賛成する理事のかた右手挙手お願ひします。反対の方、白紙の方、事務局長評決お願ひします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

審-3 8月 宮まつり例会 開催計画並びに決算(案)について  
協議資料に基づき、木村委員長より上程文の読み上げ

<福田(之)> 木村委員長および、まずは常任にお聞きしたいのですが、私が常任理事会で意見した意見が、まったく反映されていないのは、どういうことですか。私は今年反省会をすぐにやったのは、すごくいいことだと思います。それに対する検証とか、次年度に引き継いでいただきたいのですが、検証がされていない。というのが一点。また、ここだけ引継ぎ事項を抜粋した意図があるのかな、というのがもう一点、これが、常任理事会で私が意見したことです。まったく直されていないというのが、一点、それともう一つ、常任理事会で金専務がいつていたのですが、検証の方の対外目的の検証とかが、基本的に主

観になっている。ここも直っていません。どのように対応されたのですか。

<木村> まず一つ目の反省報告会ですが、引継ぎ事項ですが、一つ一つに対する引継ぎ事項は作っておりません。ただ、PDFの方で残したのは、われわれ、宮まつり委員会で、しっかり受けとめ、その中で、来年に引き継ぐ上でわかりやすいように参考資料に載せました。ふたつ目の対外的目的の方は、すいません、私なりに直したのですが、どうしても主管的になってしまい、これで目的の検証とさせていただきます。それでも、客観的にみた検証となっております。

<福田(之)> 私の意図していることが、うまく伝わってなかったというのが、今の木村委員長の答弁でわかりました。反省会の内容ではなく、反省会を開催したことの検証、総括、反省会はこのようにもので、こうだったから、よかったから来年も引き継いでください。という総括的なものを記載してくださいということです。それを常任理事会の時にお伝えしました。二つ目は次年度の引継ぎ事項で、抜粋したところが、特に重要などころだったのか、それとも何か理由があり、ここだけを抜粋しているのか、というのが二つ目、それは後でとして、三つ目の主観的というのが、去年の委員長は、他の部会の方たちのヒアリングをした裏付けがありました。そういう答弁があるのならかまわないのですが、ただ単に感じたことを書いているようにしかみえないので、そこら辺を金専務は直してくださいと、去年と同じ方法がある程度やるとか、そういうところを金専務は伝えたのだと思います。そういうところが伝わっていないというのが一番の問題点だと思います。以上です。

<木村> 先ほどの13番の引継ぎ事項と参考資料が違うのはなぜかというところですが、次年度への引継ぎ事項は各部会からの意見に対しての引継ぎ事項となっております。一番下の引継ぎ事項は、われわれ宮まつり委員会の検証の引継ぎ事項となっております。対外的目的の方ですが、各部会だけではなく、多くの一般の方、昨年出ている方たちからの吸い上げで、全て含めたもので、検証としては多方面からいろいろなものが聞いているので、達成できたと思っていますが、そういったものを含めて引継ぎ事項に載せています。言葉不足で申しわけありませんでした。以上となります。

<澤畑> そうすると、意見が出ているのが記載されていない。という点に関してはどうしますか。

<廣田> 木村委員長からいろいろな説明がありましたが、審議をとるために付け加える量が多いので、本日の理事会は協議にさせていただきますして、12月の理事会にて再度整えた議案にいたしますので、大変申しわけございませんが、審議を取り消し、協議にさせていただきます。

<澤畑> では、協議事項3番にいたします。

審-4 8月 わんぱく相撲全国大会 開催報告並びに決算（案）承認の件  
審議資料に基づき、宮林委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 13番項が、一部ブラウザでみたときにフォーマットくずれが見受けられますので、そこを修正させていただきます。

<澤畑> ご意見なきようですので決をとりたいと思います。審議事項4番 8月 わんぱく相撲全国大会 開催報告並びに決算（案）承認の件 賛成の方、反対の方、白紙の方、事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

審-5 9月 青少年ダンス事業 開催報告並びに決算（案）承認の件  
審議資料に基づき、相田副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 問題ございません。

<佐藤> ビジター報告の件なのですが、こちら1名という参加人数と記載されていますが、あと2名追加をお願いいたします。

<相田> 訂正させていただきます。

<加賀田> 今回、いままでと比べて困難であったことなどを教えていただけると、次年度へよりよく引き継ぎができると思いますので教えていただけますか。

<相田> 今回は審査基準の設定と、様々なジャンルの数量、選定が困難でした。アンケートをみますと、採点に関してどうしてもジャンルで乗り越えられない壁があるとの意見がありました。すべての人には納得していただけませんでした。概ねよかったとのご意見をいただいておりますが、やはり採点、審査基準の設定が難しかったです。

<飯沼> 事業目的に達しなかった点の対外の箇所における文章の表現がわかりにくいとおもいますので、この表現の意図がありましたら教えてください。

<相田> 私の表現がわるいのですが、よい意見もわるい意見も両方ありました、との意味合いでこのように記載させていただいております。

<飯沼> これはもしかして、「育成につながりませんでした」との記載をしたかったと思うのですが、どうでしょうか。質問です。

<相田> 「育成につながりませんでした」に訂正させていただきます。

<間島> 1 1 番項の事業目的に達しなかった点の対内の最後の文章に誤字がございますので修正をお願いします。

<相田> 修正させていただきます。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項5番 9月 青少年ダンス事業開催報告並びに決算（案）承認の件  
賛成する理事のかた右手挙手お願いします。反対の方、白紙の方、事務局長評決お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

審-6 9月 50周年準備例会 開催報告並びに決算（案）承認の件  
審議資料に基づき、吉田副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 問題ありません。

<羽石> フォーマットに関することなのですが、参加推進方法の箇所、括弧が半角になっております。あと今年の工夫と期待される効果の箇所でフォントのサイズが異なるところがございますので確認ください。意見です。

<吉田> 修正させていただきます。

<澤畑> 総務委員会、ご注意ください。

<辻> 申しわけございません。

<澤畑> ご意見なきようですので決をとりたいと思います。審議事項6番 9月50周年準備例会 開催報告並びに決算（案）承認の件 賛成の方、反対の方、白紙の方、事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

審-7 10月 食育事業 開催報告並びに決算（案）承認の件  
審議資料に基づき、中嶋副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 11番項の事業目的達成の検証の箇所、誤字が見受けられますので修正をお願いします。総務委員会のチェック漏れで申しわけございません。あと前回までの流れの箇所に点が抜けている箇所もございますので修正をお願いします。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項7番 10月 食育事業 開催報告並びに決算（案）承認の件  
賛成する理事のかた右手挙手をお願いします。反対の方、白紙の方、事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

審-8 10月 全国大会関連事業 開催報告並びに決算（案）承認の件  
審議資料に基づき、菊地副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 上程スケジュールの箇所にフォーマットのくずれがありますので修正をさせていただきます。

<松井> 本筋とははずれてしまうかもしれませんが、議案のファイル名、新しいタブで開くと思いますが、タブの項目名が議案によってことなるのですがフォーマットとしては問題ないのでしょうか。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項8番 10月 全国大会関連事業  
開催報告並びに決算（案）承認の件  
賛成する理事のかた右手挙手お願いします。反対の方、白紙の方、事務局長評決お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

審-9 役員選挙管理委員会設置報告並びに決算（案）承認の件  
協議資料に基づき木村委員長よりの上程文の読み上げ

<澤畑> 法令会計から何かございますか。

<豊崎> 特段ございません。

<澤畑> 総務委員会、フォーマットはどうですか。

<辻> 問題ありません。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項9番 役員選挙管理委員会設置報告並びに決算（案）承認の件  
賛成する理事のかた右手挙手お願いします。反対の方、白紙の方、事務局長評決お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

協-1 2015年度 新入会員認証（案）について  
協議資料に基づき佐藤副委員長よりの上程文の読み上げ

<福田> 学歴について質問です。

<小瀧> 彼はオーストラリアの州立の専門学校でディプロマというのを取らないと履歴書に書けないそうです。専門学校を卒業した学位らしくて、ディプロマと書くそうです。

<福田> 日本語表記でいいと思います。

<金> 学歴を書くところですので、学校名は書かなくてもいいと思います。中卒とか、高卒とかと同じだと思います。

<佐藤> ご意見なきようでありましたら2015年度 新入会員認証（案）について審議格上げの同義をお願いいたします。

<金> ただいま、佐藤副委員長から、審議格上げの動議がありました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いいたします。篠原委員長、鈴木常任お願いします。それでは審議格上げの決をとりたいと思います。賛成の方、反対の方、白紙の方。事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<金> 全会一致を持ちまして、本案件を審議事項10番に入れさせていただきます。

協-2 1月 新春例会開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき相田委員長より上程文の読み上げ

<木村> J C 関連で伊達 J C との協議は済んでいますか。

<飯沼> 次年度の理事長、専務理事様にお招きの招待状は統一させていただいています。その旨を伊達 J C に伝え、来たい方は、もちろんウエルカムだと伝えていまして、大体 4, 5 名が来ていただけるとのことです。具体的なお名前の方は、12月18日までにいただけるように次年度の専務理事の方に伝えております。

<澤畑> 新春例会はどんな意味でやるかはわかっていますよね。わかっていればいいですが、2016年度の理事長お披露目となります。また、2016年度の宇都宮 J C の運動を周知する場です。しっかりとした設営をお願いします。そして、この議案はですね、2016年度の議案のお手本となります。理事の方はしっかりとみていただき、誤字脱字その他もろもろ細部までみていただき、しっかりとした議案にしてください。

協-3 8月 宮まつり例会 開催報告並びに決算(案)について  
協議資料に基づき木村委員長より上程文の読み上げ

<柿沼> 議案の一番上、木村委員長が副委員長になっています。修正をお願いします。

<菊池> 12番項の実施上の問題点、予算上の問題点、宮っこみこしの受付で住所を書いていた  
だく時に時間的に困難になり全体写真を配布することができませんでした。とありますが、時間的に困難になった理由を具体的に教えてください。

<木村> 理由としましては、236名の参加者を30分から1時間の間では無理でした。それを  
含め次年度引継ぎ事項にチェックだけですむようにと記載させていただきました。

<金> そうしたら、実施上の問題点に記載してください。

<飯沼> 検証の件で、来月最後ですので、数値やデータで第三者がみたときにわかりやすくして  
ください。

<福田> 予算の点での確認です。マルイ呉服店の予算ですが、ちょうちん持ちの方の予算ですか。

<木村> そうです。

<松井> 12番実施上の問題点、その他の問題点で、気温が高く熱中症などの心配があります。  
というところで、漢字が間違っています。

<澤畑> みな、宮まつりが好きだと思いました。宮まつり自体が大きな事業で膨大な資料になり、大変かもしれませんが、出た意見は真摯に対応してください。宮まつり委員会にかぎらず、全体的に常任との連携がうまくいっていなかったのかと思います。今年度の常任には自分の議案として考え、オブザーブしていたと思いますが、常任はでた意見をしっかりと委員長には伝えなければいけなかったと思います。そういうところが欠けていたのだと思います。あと一カ月しかありません。来年にも関わることですので、常任理事という責任をもう一度考えてください。

審 - 10 2015年度 新入会員認証（案）について  
協議資料に基づき、佐藤副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> ご意見なきようなので審議のほうに移りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは決をとります。審議事項10番、2015年度新入会員認証（案）について承認の件賛成される理事の方右手挙手をお願いいたします。反対の方、白紙の方。事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 全会一致を持ちまして、審議可決とさせていただきます。

<小瀧> 審議ありがとうございました。ちょうど30人目となります。ここまで目標を達成できたのは皆様のご支援ご指導の賜物と思います。まだ、12月までありますので、今年度入る方がいらっしゃいましたら紹介していただき、また、次年度にこの流れをつなげたいと思います。

## 15. 報告依頼事項

報 - 1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報 - 2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報－3 会費納入状況について

<豊崎> ご一読ください。

報－4 特別会員入金状況について

<豊崎> ご一読ください。

報－5 10月ビジター報告について

<小瀧> ご一読ください。

報－6 ビジター名簿について

<小瀧> まだまだ今年度頑張りますので、よろしくお願ひします。

報－7 会員拡大ポスターの配布について

<篠原> 会員拡大はLOMの根幹です。その中で広報メディア戦略委員会としては、宇都宮JCを発信するということが大前提にあります。そこで、会員拡大と連携をとり、来年再来年に続けていくにあたり、今年度できることはなにかということで、LOM一丸となりポスターの配布をいたします。

<福田> 地域割りと枚数の関係ですが、法令会計の地域と50周年準備委員会の地域で同じ20枚に関して、なぜ一律の割りなのか。

<篠原> 当委員会で独自に決めさせていただいております。

<山田> ポスターを張る期間はどれくらいですか。

<篠原> できるだけ長くお願ひします。

<金> この場で決めるのではなく、再度、決めていったほうがいいと思います。

16. 監事講評

<安野>

2015年度も理事会が残り1回となりまして、皆さまお集まりいただきましてありがとうございます

た。本日の理事会は5月から10月までの決算報告議案ということで、反省点が多く出たというのが私の感想です。ただ、反省点というのは次年度に必要だと思いますが本年度の体制といたしまして委員長を筆頭に各委員会で企画・運営でだいぶ苦勞されたかと思ひます。その中で事業を迎えて俺たちの委員会だからできたこと、これはすごく素晴らしいことだと思いますがその報告がされていない。そういう報告がみつけにくいかもしれないのが現状かもしれませんが、議案に反映されなくても今後残された委員会の中でメンバーに勞うような場も作っていただきたいと思います。そして、苦言はいわなくてはならないのでいいですが、遅刻者が多かつたこと、審議途中の退席がありました。皆さまが遅れるのは勝手だと思いますが、時は勝手に進んでいるということです。実際に取り残されているという感覚を持っていただきたいです。理事会途中で審議を待つ場もありましたが、5分待つたとしても世の中5分進んでいるという遅れはなかなか取り戻せない時間だと思います。そこら辺を今一度みんなで共有して、社会の常識とJCの常識を照らし合わせて、これは社会で通用するのかというようなことをもう一度考え直すきっかけになったと思ひます。継続的な成長と進歩がなければ、達成したことや成功したことをいう資格はなくなりますので、JCでいわれる継続がありますが、継続することが素晴らしい人財のきっかけになると思ひます。人材は材料の材と財産の財がありますが、材料の方は元々持ち備えた才能で、配置されて組織が運営されていくものだと思います。財産の財は実績もあり成長が期待できる人物で、それが組織に関わることで組織が活性化されることだと思います。今年掲げているのは財産の方で、そんな財産を残り少ない時間で育て上げていただきたいと思ひます。以上で監事講評とさせていただきます。お疲れさまでした。

## 17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所  
2015年度 第11回理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：澤 畑 敦 史  
安 野 嘉 政